

今日からレッスンしよう！

一重太鼓

1 手先の長さを決める



手先になるほうを半分の幅に折って和を下にする。手先を左の肩にかけ腰の手前までおろし、クリップで衿にとめておく。
たれを背中にまわし、布の輪が下にくるようにして後ろから体を一巻きする。
(半時計回りに)

2 帯をもう一巻きする



左手で背中の下側の帯を下からしっかり掴みながら右手で帯をひっぱり、もう一巻き、苦しくない程度にしっかりと締める。(前の柄が良い位置にきているか確認)

3 タレと手先をクロスする



たれがまた後ろに来たところで、上にでていいる手先を下ろし、たれとクロスさせる。

4 クリップで手先を前帯で留める

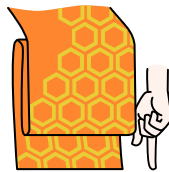


手先を前に持ってきてクリップで留めておく。

チェックポイント！

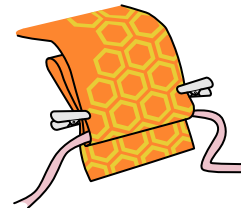
◇帯の巻き方がゆるくないか

5 たれ先の長さを決める



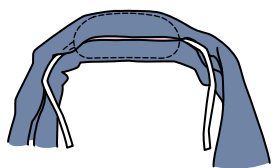
あらかじめ、たれでお太鼓部分をつくる。お太鼓柄の下ラインを折り、たれ先の長さ(ひとさし指1本程度)を決める。

6 お太鼓をつくる



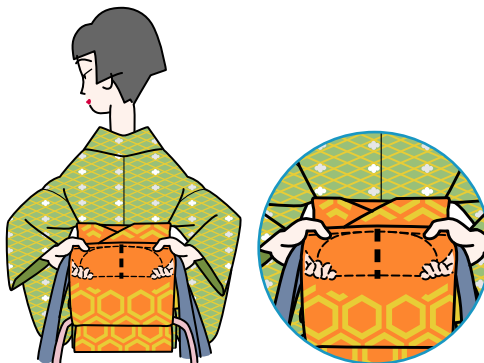
余った帯の部分を折り込み、両サイドをクリップで留める。お太鼓の下線になる部分に仮紐を通しておく。

7 帯枕に帯揚げをつける



帯揚げを帯枕に巻きつけておく。

8 帯枕を固定する

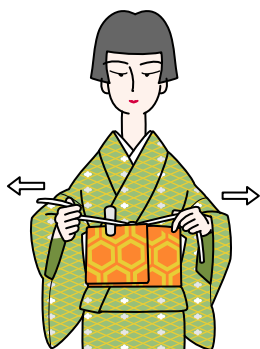


帯枕を6でつくったお太鼓の下に山型が上になるようにして入れ、手の甲をお尻側に向けて中指三本を枕にあて親指と人差し指でひねった帯を伸ばしながら帯枕を持ち上げ、背中につける。

チェックポイント！

◇帯山は背中についているか

9 帯枕の紐を結ぶ



帯枕の紐を斜め前にひっぱるようにしながらしっかり結ぶ。帯揚げはじやまにならないように軽くむすんでおく。

10 仮紐を結ぶ



帯の下に通した仮紐を前で結び、お太鼓の形を整える。

11 手を帯に折り込む



手先をとめたクリップをはずし、手先を仮紐の通っている部分に折り返す。

12 帯留めを通す



お太鼓の上下の真中あたりを通るようないちに、帯締めを通して前にまわす。

13 帯締めを結ぶ



手先を上から押さえるように帯締めを通す。後でずれてこないようしっかりと結び、仮紐を外す。

チェックポイント!



◇おはしよりの長さは人さし指1本分程度。余分なしわができていないか

◇帯締め、帯揚げ、衿の合わせ目が身体を中心に揃っているか